

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕(経営者)	・最近は依頼が増えている。
	○	百貨店(店長)	・今月の好調を維持しつつ、春休みのイベントなどの開催による幅広い客層の来店を期待し、更なる売上増加を見込んでいる。
	○	スーパー(副店長)	・今の政治に期待が持てる上に、政策も少しずつ実現しており、今後にも期待ができる。
	○	乗用車販売店(経営者)	・ガソリン税及び軽油取引税の暫定税率廃止、自動車税環境性能割等の改正により、自動車の購入、維持におけるハードルが下がることで、新車や中古車の販売増加が期待される。
	○	高級レストラン(経営者)	・新年を迎え、物価高騰対策も効いてくるとの期待もある。また、移動の時期でもあるため、多少は良くなってくる。
	○	都市型ホテル(スタッフ)	・予約の動きは、法人、個人利用共に悪くない状況で、前年比でもプラスで推移している。しかし、商材単価の伸びが商品の値上げ分のみ、あるいはマイナス基調であることが不安要素である。
	○	タクシー(経営者)	・年明けは若干落ち着くとみている。
	○	観光名所(職員)	・来期の予約を受注し始めているが、出足は良い印象である。全国でも1～2位と高額だった県内の燃料価格が、カルテル疑惑の浮上から、ようやく下がり始めている。
	○	遊園地(職員)	・インバウンド動向を考慮しつつ、冬休みや年末年始イベントを契機に、情報発信を強化し、来月以降のイベント施策を追い風にして、集客につなげたい。
	○	ゴルフ場(経営者)	・物価上昇対策等、政府の短期的な景気対策が効果を発揮すると考える。その上で、長期的に適切な対応をすることが現政権であれば可能であろうと期待する。
	□	商店街(代表者)	・どちらとも言いようがない。先行きはよく分からない。
	□	一般小売店〔家電〕(経営者)	・年末の状況をみても、景気が良くなりそうな要素がない。年度末は新生活が始まる人が出てくる時期なので、多少なりとも商材の動きや売上に結び付くよう期待したい。
	□	百貨店(経理担当)	・今年度の商売の内容は高級品が伸びて、衣料、食品の厳しい状況が続いている。直近3か月のトレンドをみても、今後はそう変わらないものと考えている。政府の景気対策であるガソリン税暫定税率の廃止や生活支援施策も、消費動向にすぐに結び付くとは考えにくい。
	□	百貨店(営業担当)	・ガソリン暫定税率の廃止で価格も下がってきてている。ただし、食料品関係の物価高、値上がりがあるため、消費行動は慎重で、余り変わらない。
	□	スーパー(経営者)	・為替相場が円高には振れず、物価上昇が止まらない。個人消費は盛り上がりがない。
	□	スーパー(経営者)	・3月一杯は現状同様に推移する。4月以降はどうなるか分からない。
	□	スーパー(店長)	・物価高が続いており、し好品類の販売動向は鈍化したままである。米も価格の安い物が中心の買い回りになっている。
	□	コンビニ(経営者)	・これからは降雪の日が増え、なかなか売上は伸びない。前年も、好天だと来客数は増えるが、雪が降ると来客数、売上共に非常に厳しかったので、今年も同様と考える。
	□	コンビニ(店長)	・天候の状況にもよるが、客の購買意欲は、今後も特別変わらない。
	□	自動車備品販売店(従業員)	・大きな変動要因がなく、変わらない。
	□	旅行代理店(副支店長)	・物価高の折、旅行控えなどが目立ち、年末年始も自宅で過ごす家庭が多い。インバウンド、特に中国人の旅行者が激減しているため、宿泊代を下げているホテルへの相談が多くみられるものの、なかなか成約にならないケースも多い。
	□	タクシー運転手	・夜の客が減っている。そのため、一部の隔日勤務者を日勤に変更している。こうしたことで、夜の営業を極力抑え、経費を抑えることも必要ではないかと考える。
	□	通信会社(社員)	・現状では、この先見通せるような加入者数増加の材料はない。来年以降の種まきの段階である。
	□	通信会社(社員)	・現状が維持できれば良い方ではないかと考える。

	□ ゴルフ場（副支配人）	・様々な物価高騰、特に、生活関連の物価高騰、高止まりから、余暇であるゴルフのプレー回数は減少が予想される。
	□ その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・年末年始の繁忙期が終わり、3月末から4月の春休みに入るまでは落ち着くとみている。
	▲ 商店街（代表者）	・年末年始の贈答需要が、家族の世代交代を機会に、縮小傾向に向かっていると実感している。
	▲ スーパー（企画担当）	・物価は継続的に上昇するものの、給料は年に1度しか上がりず、税や社会保険料の負担増加で、手取りもさして増えない。賃上げから時間がたつと、手取りの上昇分と、物価上昇分の差は広がる。
	▲ コンビニ（経営者）	・今月は年末年始商材があり、何とか売上が前年実績に近づいているものの、2~3か月後は伸びない。
	▲ コンビニ（経営者）	・物価高や人口減少もあるため、やや悪くなる。
	▲ コンビニ（経営者）	・年末年始を過ぎ、夏のボーナス支給までの間は、例年客単価が低くなる傾向である。
	▲ コンビニ（経営者）	・例年同様、1月以降春までは売上は落ちる見込みである。手元に残るお金が増えれば景気も良くなり、売上にも響いてくるのではないかと期待している。
	▲ コンビニ（エリア担当）	・可処分所得が増えていない。
	▲ その他専門店〔酒〕（店長）	・12月は高額商材がたくさん出る特別な月でもあり、2~3か月後は相変わらず厳しい状況と考えている。いろいろな原材料価格の高騰が、商品価格に出てきたときに、家計にどのような影響を及ぼすかは、非常に厳しいと認識している。売上自体は前年を超えるが、中身を考えると、製造現場も客の様子もやや悪くなるとみている。
	▲ 一般レストラン（経営者）	・細かい理由があるというより、街の様子、注文の仕方をみても、世知辛い。
	▲ 一般レストラン（経営者）	・天候の状況にもよるが、寒いなか客足が伸びるような要素はない。
	▲ スナック（経営者）	・コロナ禍明けから、忘年会等を少人数で開催するケースがかなり多く、余り大人数での来店はない。当地はこれから降雪の時期なので、タクシーがいなくなることを想定して客が早く帰ったり、家から出なくなるため、1~2月はかなり厳しい売上になる。
	▲ 観光型旅館（経営者）	・従来、冬季は客の少ない時期で苦戦していたが、近年は近隣観光地に中国からのインバウンドが増加していたこともあり、そのおかげが流れてきて、幾らか状況が改善していた。しかし、今は中国からのインバウンドが激減しているため、観光地も単価を下げて中国以外からの集客に力を入れている。そうなると観光地からやや離れている当旅館におこぼれが回ることは期待できない。
	▲ 都市型ホテル（スタッフ）	・高い商材が敬遠されている。一般消費者の財布のひもが非常に固くなっている。年末年始にお金を使った後、これからぐっとまた絞り込むとみている。また、季節要因で、冬の動きは鈍くなる。
	▲ 都市型ホテル（スタッフ）	・直近の予約リードタイムは、徐々に短くなっている。
	× 商店街（代表者）	・閉店する店舗が増えてきそうである。
	× スナック（経営者）	・飲酒運転の取締りを自転車でも実施するようになって、市街地で酒を飲む人が非常に減っている。この先も回復する見込みはないため、とても困っている。
企業動向 関連 (甲信越)	○ 烹業・土石製品製造業（経営者）	・大口受注が決まり、年明けから当面は多忙となる予想である。
	○ 金属製品製造業（総務担当）	・半導体の需給が回復し良くなる。
	○ 食料品製造業（製造担当）	・本格的に販売方法を変えているため、量販店の販売は通常どおりだが、移動販売に力を入れていきたい。
	□ 食料品製造業（営業統括）	・国産ワインのボジョレーヌーヴォ一人気も下火になり、消費者の購買意欲も減退しているなか、しばらくは大きな伸びを期待するのは難しい。
	□ 電気機械器具製造業（経営者）	・物価高による買い控え、それに対する価格競争等、市場環境の厳しさも加わり、回復が見通せない状況である。

	建設業（経営者）	・工事の件数や単価は、少しづつ上がってきている。量については不明である。
	金融業（調査担当）	・現状と変わらずに続くものとみられる。
	金融業（経営企画担当）	・物価高騰や日中関係の問題等、マイナス要因が解消される兆候がないことから、変化はない。
▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料価格の高騰が続いている。
▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・12月は資材が値上がりし、1月には紙代が上がる予定である。原価の上昇分を取り戻すための値上げは、なかなか難しい。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・新規営業では価格面で厳しいことがある。安価で受注しても、物価高対応や人件費も上げていきたいことを考えると、赤字になる可能性がある。今後の検討事項である。
▲	電気機械器具製造業（従業員）	・変圧器の納期が不明であるため、思い切った受注ができない状況が続いている。新しいトップランナートランスに関しても同様で、新年度も不安である。
▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・地金高騰から、新商品が作れない。チタンのような金やプラチナ以外の素材でジュエリーを試作しているが、市場に受け入れられるかは不明である。在庫は売れているため、売上は増えているが、同価格での商材補充が難しいため、今後の展開のめどが立たない。
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—
	○	—
	□ 職業安定所（職員）	・新規求人数が前年同月比で15.2%減少し、2ヶ月連続の減少となっている。
	□ 職業安定所（職員）	・求人数、求職者数共に大きな変化はない。
	□ 職業安定所（職員）	・企業マインドの好転を阻む要因が解消しない上に、新たな要因が発生する不透明な状況が続いているが、直ちに景況感が改善あるいは悪化するといった状況ではない。
	□ 民間職業紹介機関（経営者）	・著しい円安が好転しないと、企業マインドの陰りが続く。
	▲ 人材派遣会社（営業担当）	・まだしばらくは人口減に伴い、景気は下向きの状態が続くとみている。
	▲ 職業安定所（職員）	・中国の景気が低迷していることに加え、米国の相互関税政策の影響が、徐々に顕在化している。今後は日本企業の収益悪化や日本銀行の政策金利の引上げによる為替への影響も懸念される。
	×	—